

来週の「売り物記事」はこれ



2017年11月24日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

「エイズを恐れなかった歯科医」

26日(日)



東京都品川区で開業する歯科医師、鈴木治仁さん(60)＝写真＝は、開業当初の23年前からHIV(ヒト免疫不全ウイルス)に感染した患者の診療を続けています。当時はHIVやエイズについての理解は進まず、差別や偏見による「診療拒否」がしばしば起きていた時代でした。そんな中、HIV陽性者に寄り添い続けた鈴木さんの歯科医療の原点と、その思いに迫ります。

筆者は東京社会部の金秀蓮記者です。



世界が評価、新たな蒸留所も続々

ジャパニーズウイスキーの底力

夕刊特集ワイド 28日(火)



ウイスキーづくりに情熱を燃やす人々を描いたNHKの朝ドラ「マッサン」が話題になりましたが、その「ジャパニーズウイスキー」が今、ブームになっているそうです。新たな主役は、実は大手メーカーではなく小規模蒸留所。こだわりの原料や設備で生み出された琥珀の一杯は、通をもうならせています。世界の愛好家を取りこにするその魅力とは何でしょうか。東京都心のJウイスキー専門のバーなども訪ねました。

健常者と障害者の切磋琢磨—東京パラリンピック企画

社会面 27日から全3回

2020年東京パラリンピック開幕まで29日であと1000日。「共生社会の実現」という大会目標に向けての動きを探る企画「CONNECT 東京パラリンピック点描2017秋」では、パラリンピック選手を指導する元五輪代表選手や視覚障害の陸上選手を正規社員として雇用した銀行の陸上部、五輪メダリストを生んだ強豪クラブで練習する身障者競泳の選手など、障害者と健常者のアスリートがともに切磋琢磨する現場を追います。



有望中学球児の行方

スポーツ面 29日(水)から



来年に春のセンバツが90回、夏の甲子園が100回の節目を迎える高校野球。その底流を掘り下げる年間企画「高校野球 新世紀」第3部がスタートします。

社会の少子化が進み、公立私立を問わず学校の経営環境が厳しくなる中、高校野球での知名度アップに期待する高校が、中学生の有望選手を獲得するために、あの手この手で奮闘努力する姿をレポートします。

生前整理で暮らしやすく

くらしナビA面 28日(火)

たんすの中、納戸、床に置かれた紙袋……。年を重ねた親が住む実家は何かと物が多いのに片付いていないこともあるのでは。普段は離れたところに住んでいる家族が集まり、時間もある年末年始は、大掃除にかこつけて実家の片付けを進めるチャンスです。よりよく生きるための生前整理とはどのようなものなのか、専門家が場所ごとにコツをアドバイスします。



My Way ピーターさん



サラダぼうる

27日(月)



地唄舞の人間国宝を父に持ち、3歳で初舞台を踏んだ俳優のピーターさん。けいこ優先の日々でしたが、7歳の時に両親が離婚。母と鹿児島に行き、自然の中でやっと子供らしくなったといいます。歌手として人気が出た後、黒澤明監督の映画に俳優として出演したことで転機を迎えました。型にはまらず自由に生きているピーターさんが人生の楽しみ方を語ります。

「エイズ治療の最前線」

科学面 30日(木)

かつては死に至る病と恐れられたエイズだが、現在は原因となるヒト免疫不全ウイルス(HIV)に感染しても、医学の進歩で通常の生活を送ることが可能になった。しかし、世界の新規感染者は減少している一方、日本は高止まり傾向を示しており、国内での予防対策が課題になっている。12月1日は世界エイズデー。治療や予防など、エイズ治療の進歩や課題取材した。

